

事業番号	- 4	事業名	図書館管理運営事業			
所管	教育委員会事務	局	中央図書館	部	総務	課
【検討委員の主な意見等】						
<ul style="list-style-type: none"> ・機器の不具合等があったとのことだが、事業シートでは、来館者数が20 21年度で減っている中で、1.5倍の目標値を立てているが、効率性が向上していっているようには見えない。 ・簡単な調べ物がネットで済んでしまう状況の中、堺市の図書館はどうすべきかよく考える必要がある。 ・若年層、中高校生の利用を促進する必要がある。 ・分館のどこかに、市民協働ができそうなものを一部民間委託するというような考え方もできる。 ・民間委託するということはコスト削減だけではなく、質の向上ということもある。 ・図書館に行かないと得られないもの、インターネットでは得られないものを提供する場にすべき。 ・電子図書館等について、国立国会図書館が実施するものなら、あえて堺市がやらなくてもいいのでは。 						
【評価区分】「主な具体的強化策」、「主な具体的改善策」は市民審査員からのご意見です。					審査員	検討委員
市で実施(現行どおり)					1	0
市で実施(強化・拡充)					0	1
的 主 な 具 体 的 強 化 策						
市で実施(要改善)					12	3
の 事 業 主 体 ・ 手 法 の 改 善 策	民間への委託を進める				(5)	(2)
	市民との協働を推進する				(1)	(0)
	市が直接実施するのではなく、補助金等を支出して、他の事業主体(担い手)で実施する				(1)	(0)
	その他				(0)	(0)
事 業 実 施 の 改 善 策	事業の実施内容を見直す				(3)	(1)
	他の事業との統合・再編を検討する				(1)	(0)
	事業規模を見直す(サービスの水準や対象者等)				(5)	(1)
	市以外からの財源の確保を図る				(0)	(0)
	サービス受給者の自己負担を見直す				(0)	(0)
	PRを強化して、事業の周知を図る				(2)	(0)
	その他				(0)	(0)
主 な 具 体 的 改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> ・電子化するよりも図書館に来ることでメリットがあることを分からせる工夫をするべきだと思う。本をたくさん読ませるためにも椅子、机が足りないと思うので増やしてほしい。 ・書籍の電子化という世界的な潮流に対する一般市民の抵抗感をなくし、読書による世界の無限の広がり、読書の啓もうを促す取り組みをしてほしい。 ・サービス対象として子ども、老人、障がいのある方など、少々範囲が狭く感じる。大人の知的好奇心をもっと高めることも考えてほしい。 ・職員の確保が急務では。 ・正規職員の人件費が高すぎると思う。委託化してコストが下がったのであれば民間へ委託を進めるべきと思う。 ・2~3年後に変換点がある。重要性が薄れてきているので方向性の再検討が必要。 					
実施主体の見直し					0	1
選 択 の 理 由	民間の方が効果的・効率的にできる				(0)	(1)
	国や府で統一的に実施する方がよい				(0)	(0)
	他の自治体と広域連携で進めるほうが効果的・効率的にできる				(0)	(0)
	その他				(0)	(0)
事業は不要					0	0
選 択 の 理 由	行政で行う役割は終了している(事業開始当初の目的は既に達成されている)				(0)	(0)
	時代の変化に伴う課題やニーズ(需要)を反映していない				(0)	(0)
	事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい				(0)	(0)
	サービス受給者の自助努力に任せるべき(税金を投入する必要はない)				(0)	(0)
	効果がない(低い)				(0)	(0)
	その他				(0)	(0)

各評価の内訳人数は、2つ以上の選択のあるものについてはカウントしていない。